

アメリカ経済論Ⅰ

科目ナンバリング ECP-325
選択 2単位

李 素軒

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、20世紀以降世界経済をリードしてきたアメリカ経済の歴史的発展過程を概観し、現代アメリカ経済の特徴及び課題について学びます。1929年世界大恐慌から2008年グローバル金融危機、近年のトランプ現象やパンデミックまで、アメリカ経済の変遷を辿りながら、関連する論点を解説します。

2. 授業の到達目標

- (1) アメリカ経済の歴史的発展過程についての基本知識を習得する。
- (2) 現代アメリカ政治経済の主要な論点に関する背景知識を習得し、自分なりの視点で読み解き、他者に説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点:30%(授業中の発言、リアクションペーパー)

小テスト:30%

期末レポート:40%

小テストやレポートの解説・評価基準はLMSへ掲載します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に無し。

参考文献

河崎信樹、河音琢郎、藤木剛康編著 現代アメリカ政治経済入門 ミネルヴァ書房

柴田徳太郎編著 世界経済危機とその後の世界 日本経済評論社

柴田徳太郎著 資本主義の暴走をいかに抑えるか ちくま新書

5. 準備学修の内容

前回までの講義内容について的小テストを授業期間中に2回実施するので、講義資料を復習し、ポイントを要約・説明できるようにしてください。小テストの日程は前の週の授業中に告知します。

6. その他履修上の注意事項

アメリカ経済に関するニュースをチェックしたり、授業内容に関連する映画、ドキュメンタリーなどのコンテンツに触れたりしながら自分との接点を見つけると、学習の動機づけにも繋がると思います。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:授業の概要と趣旨、進め方、成績評価方法等について説明する
- 【第2回】 歴史的発展過程①:大恐慌とニューディール体制について学ぶ
- 【第3回】 歴史的発展過程②:資本主義の黄金時代について学ぶ(LMSによるオンライン授業:オンディマンド型)
- 【第4回】 歴史的発展過程③:新自由主義の台頭について学ぶ
- 【第5回】 歴史的発展過程④:1990年代以降のアメリカ経済情勢について学ぶ
- 【第6回】 産業構造の変化について学ぶ
- 【第7回】 対外経済関係について学ぶ
- 【第8回】 ドル基軸通貨体制について学ぶ
- 【第9回】 金融化と金融危機について学ぶ
- 【第10回】 金融政策について学ぶ
- 【第11回】 財政政策について学ぶ
- 【第12回】 雇用構造の変化と格差問題について学ぶ
- 【第13回】 移民政策について学ぶ
- 【第14回】 米中貿易戦争と新冷戦について学ぶ
- 【第15回】 講義を総括する